♡ 戸島人工巣塔から巣立った 32 羽の子供たちの物語 ♡

2008 年から 15 年連続繁殖をしている戸島ペアの子供たち 32 羽の巣立ちの記録です。
15 年を一区切りとして、記録に残したいと、ホームページに記載させていただきます。
（一部、機会の故障などで記録できないときもありました）

2008 年

J0007（未標識）7 月 6 日巣立ち。ネットランチャーによる足環付けの捕獲から逃れ、未標識のまま自由に大空を飛び回っていた。尾羽に黒い羽が混じっていたのが特徴で、自己主張しているようで頼もしく感じた。2009 年 1 月８日に島根県斐川町で、交通事故により亡くなったとみられている。（筋肉もしっかりつき、胃の中にはたくさんの種類の生きものがあったそうです）自然豊かな斐川町に降りて、たくさんの餌を食べていたようだ。

J0008♂7 月 3 日巣立ち。同じ日に野上人工巣塔で巣立ったJ0010 と京丹後市久美浜町永留巣塔で繁殖し 2012 年～2013 年で 8 羽のヒナが巣立った。2013 年 5 月 23 日に久美浜町でネットに足を絡まし死亡した。ハチベエとして愛され親しまれ、お盆には供養されている。息子の中で唯一元気な J0057 は豊岡市森井の人工巣塔で繁殖している。「和歌山コウちゃん」としても、地域の皆さんに親しまれている。

J0009♀7 月 2 日巣立ち。愛媛県西予市では「キューちやん」上郡町では「幸ちゃん」と呼ばれ、特別住民票をいただいた。2018 年からは豊岡市日高町の広井人工巣塔で J0006 とメスメスペアとなっていた。（J0006 とは異母姉妹）「メスメスペアは托卵し遺伝子の多様性を保つ」と報道がなされたため、地域の方は大いに期待され托卵によるヒナの巣立ちを望んでおられたが実行されることはなかった。2020 年からは J0210♂ と J0087♀ が広井人工巣塔で繁殖したため（近親婚のため托卵）J0009 も J0006 も姿が見えなくなっていたところ 20020 年 4 月に死亡が確認された。早くに手立てをされていたら、J0006 と J0009 は広井で特別な子育てをしていたのかもしれない。J0006 は豊岡から姿を消してしまい、行方不明となっている。とても残念でならない。

2009 年

J0013♂6 月 9 日巣立ち。ハチゴロウの戸島湿地がオープンして初めての巣立ち。3 羽育っていたが 1 羽は前赤石ペア（J0389♂ J0384♀）の攻撃により死亡。J0009♀と近親婚になりかけたが、養父市八鹿町伊佐で未標識の♀とペアになり、2018 年・2020 年・20021・2022 年と繁殖して 8 羽のヒナが巣立っている。そのうちの J0206 誠君が小浜市で J0196 と繁殖し 2021 年 3 羽 22 年には 4 羽のヒナが巣立っている。

J0014♀6 月 11 日巣立ち。伊豆ペアの J0296♂が好きなのか伊豆人工巣塔に執着し、独身を貫いている。西公開ケージの給餌にも頼らず、伊豆周辺に生息している生きもので育てられた「生粋の伊豆っ子」だと言えよう。伊豆が大好きなコウノトリのようだ。

2010 年

J0022♀6 月 8 日巣立ち。たくさんの方が見守ってくださったなかで巣立った。巣立ち後すぐに旅たち、南さつま市まで行き来していた。 2016 年から妹の（J0028）と舞鶴市の KDDI の鉄塔に営巣

し舞鶴で過ごしている。

J0023♀6 月 11 日巣立ち。J0022 が巣立ったあと、一緒に巣立つかと思われたが伏せてしまい、3 日後に J0022 が待つ湿地にやっと降りることができた。J0022 とは異なり豊岡市内で過ごし、私の通勤エリア内で過ごしている(豊岡市一日市・森津・野上)。伊豆 A(足環なし)と共に 2019 年から 3 年続いて野上ペアのヒナを襲った。なぜ、野上の巣にこだわるのだろうか。

2011 年

J0028♀6 月 9 日巣立ち。日高町静修小学校 2・3 年生の皆さんの声援を受けて巣立った。涙を流している子もいて、感動を分かち合えたことが嬉しかった。京丹後市・鳥取市・福岡・大分・山口・福井県と旅をして舞鶴市の KDDI の鉄塔で J0022♀と巣材を運びメスメスペアが 2016 年から続いている。

J0029♀6 月 11 日巣立ち。J0028 が待つ淡水湿地に降りた。降りてすぐに採餌行動を始めた。2014 年 11 月網野町で翼を怪我しているのが見つかり、福知山動物園で手当てを受け放鳥。翌年再度怪我をして福知山動物園で治療していただいたが 2016 年 4 月 26 日に死亡した。福知山動物園にお礼を言い、ゲージの傍に野の花を手向けた。

2012 年

J0047♀6 月 7 日巣立ち。親鳥(J0391)が在巣のときに巣立った。大勢のカメラマンの方が来られていたが、「親鳥が巣にいたときは巣立たない」というジンクス？経験？によるためか、皆さん雑談やトイレに行かれ、私も来館者の方とおしゃべりしていた。おひとりだけが撮影されていて記念の写真をいただいた。巣立ち後は京丹後市・出石町周辺で過ごしていた。出石町周辺で過ごす成鳥の個体とも、もめることなく過ごしていたことから、気立ての良いコウノトリだという印象がある。げんきくんが韓国から戻り、雲南市を見つけて「ここに住むぞ」と決めた？とき、2 日間だけ豊岡に飛来した。(2 月 18～19 日)私はその 2 日間で燃えるような恋をしたと思っている。運命の赤い糸。3 月 12 日に J0047 は雲南市で確認されたが、その時はすでに営巣活動を始めていて 3 月 20 日に産卵が確認されている。4羽のヒナの子育て中にサギと間違えて誤射され天国へと旅立ってしまった。悲しい出来事であったが、人の優しさ、弱さをコウノトリを通じて学ばせてもらえた。赤瓦の街並み「よけじ」のある豊かな田んぼを J0047 が教えてくれた。

4 羽の子供たちの内、J0173♂とJ0174♂は朝来市と綾部市で繁殖個体となり、J0047の命をつないでいる。情報が公開されないため寂しい。

戸島B(未標識)6 月 9 日巣立ち。6 月 16 日に拡声器に止まろうとしていて誤り、左足を痛めていた。そのため、足環付けは延期となり足の回復を待って足環を付けられることになっていたが、京丹後市に飛来し、永留人工巣塔で J0050 とペアなった。無精卵のまま真夏まで抱卵を続け痛々しかった。現在 J0050 は行方不明。戸島 B は J0050 を探し、旅をしていると思っていたが、2 月 21 日に永留人工巣塔に戻り、J0131♀と交尾をしていたのが確認されている。(足環がないので？だが)

2013 年

J0082♂6 月 23 日巣立ち。伏せていることが多く、休館日に行くと朝から伏せていたので今日も飛ばないだろうと美容院へ行っている間に巣立ってしまった。郷公園のモニターさんによると、巣立っ

て間もなく電線にぶつかって落ちたとのこと。心配したが元気そうで安心した。(75 日め)2013 年 9 月 13 日より行方不明となっている。
※この年以降は現在と同じ、孵化後約 43 日で足環が付けられている。

2014 年

J0096♂8 月 11 日巣立ち。4 月 14 日に 3 羽のヒナが育っていたが J0017 の攻撃により死亡。戸島ペアは早くも 16 日から再び交尾を繰り返し、J0017 の攻撃を受けながらの 3 羽のヒナを育てた。早朝に岡山の方が巣立ちを確認してくださった。淡水域で待つ J0391 のもとに降りた。2015 年 10 月 5 日京丹後市峰山町の鉄塔の下で死亡が確認されたとき、近くの工場の方も「毎晩この電柱で塒入りしていたのに」と悲しんでおられた。せめてもと、鉄塔の下に野の花を手向けた。

J0097♂8 月 9 日巣立ち。台風接近の夕刻に飛び立ち、下島田んぼに降りた。J0391 が大慌てで飛んできて見守っていた。夕刻に巣立ち、巣に戻れるか心配した。2017 年 6 月に出石町で電線に羽が絡まり中刷りになっているところを救護され、コウノトリの郷公園により治療後、韓国生態研究所開発の発信機を装着し放鳥された。2019 年から J0110♀とペアになり、出石町水上の人工巣塔で 4 年連続繁殖しで繁殖し 9 羽のヒナが巣立った。現在も巣塔周辺で過ごしている。2020 年にはテレビ出演も果たした。「ナニコレ珍百景」すごいね。

J0098♂8 月 12 日巣立ち。この年の最後の巣立ちとなる。J0096 J0097 の待つ淡水湿地に降りる。湿地内で J0294 の後を追いかけ餌乞いをしていた。夏休みお盆前、観光に来られた大勢の声援を受けた想い出多い個体だ。2019 年福井県坂井市で野生個体エヒメの娘 J0078♀とペアになり電柱に営巣。4 羽のヒナが巣立った。そのうち 3 羽が昨年末には韓国へ渡った。2020 年 4 月 電柱の下で死亡しているのが確認された。

2015 年

J0104♀6 月 10 日 J0030 に襲われ強制的に巣立ち。お昼過ぎに飛び立ち着地しないで帰巣した。巣立ちを楽しみにカメラを構えていたところ、後方から J0030 がヒナを攻撃し 3 羽とも転がるように巣から落ちた。近くの倉庫の屋根にとまるが J0030 に追いかけられ空中で攻撃される。楽々浦の山の斜面に潜み難を逃れた。その後も 2 週間近く、J0105 と共に昼間は結地区の谷あいの田んぼに潜み、夕方に帰巣して J0294 に餌をねだっていた。その後九州まで飛んでいき、熊本地震のときも九州で過ごしていた。2019 年は京丹後市峰山町で J0091♂とペアになり鉄塔に巣材を運んでいたが取り払われた。2020 年も峰山町で J0091 と過ごしていた。2022 年福知山市の電柱に弟のJ0126♂と営巣し産卵。巣は撤去され、卵は福知山動物園へと届けられた。

J0105♀6 月 10 日 J0030 に襲われ強制的に巣立ち。J0104 と共にいきなりの J0030 の攻撃にあい飛び立ち、湿地南に降りたが再度 J0030 に攻撃される。地域の方と佐竹さんが現場に駆け付け J0030 を追い払い難を逃れた。しばらく湿地で呆然として動くことが出来ないでいた。J0104 と同じく九州まで飛んで行った。
※J0030 は死んでしまったが、J0104 と J0105 が母鳥となり命をつないでほしいと願っている。

2016 年

J0125♂6 月 10 日巣立ち。城崎小学校 3 年生の訪問日、見送り後に巣立つ。高くジャンプをして

そのまま風の応援を受け飛び立つ。すぐ小学校に電話して皆の歓声をうけた。2019 年に同じ日に巣立った J0123♀と鳥取市の電波塔に営巣し 4 羽のヒナを育てた。海からの強風に呻られながら巣材を運んでいる姿に感動。その内の 1 羽が韓国へ渡った。2020 年からは鳥取市内の人工巣塔で毎年繁殖し 11 羽のヒナが巣立った。情報が届かずに寂しい。

J0126♂6 月 12 日巣立ち。飛びたくても飛べない日が 2 日続いたが、J0125 が 10 数回巣と湿地を行き来してくれたおかげか、やっと飛び立ち仕切り堤防に降りた。独身を謳歌するように京丹後市、石川・福井・香川・徳島・島根・鳥取県を飛び回っている。J0125 の子供たちにも鳥取で出会っている。叔父さんだよ。

2022 年には、福知山市の電柱に弟のJ0126♂と営巣し産卵。巣は撤去され、卵は福知山動物園へと届けられた。

2017 年

J0151♂6 月 21 日巣立ち。強風のなか巣立った。親鳥や他のコウノトリと飛びまわり追いかけられ、日没まで探したが見つけることはできなかった。捜索中に人生初の職務質問を受けビビった。警察の方に事情を説明すると足環の色をメモしてくださり「見つけた時には連絡するね」と言われ感激した。翌日、福田人工巣塔に降りているのが分かり、ホッとしたのもつかの間、子育て中の福田ペアに襲われないか心配した。ところが、すっかり福田ファミリーに溶け込み、巣立ち後は一度も親鳥から給餌されないまま成長した。京丹後市で長い間過ごし、昨年秋から鳴門に飛来。今年に入り三豊市の人工巣塔に J0501♀と共にとまった。しかし J0501 は長浜市に移動してしまい、現在は香川・徳島周辺で J0501 の帰りを待つかのように過ごしている。

2022 年に思いが通じたかのごとく、但東町唐川の人工巣塔でJ0501とペアになりヒナ 1 羽が巣立った。

J0152♀6 月 12 日巣立ち。孵化後 62 日目。作業日で物音に驚き飛び立つ。私は掃除をしていて気づかなかった。玄武洞へ向かう道路の側溝に蹲っているのをサイクリングされている方が見つけてくださった。コウノトリの郷公園で手当てを受け、戸島湿地で解放。その翌日に巣に戻ることができた。2019 年には峰山町で J0173 と共に電柱に巣材を運んでいるのが確認されている。2020 年に 2 月には米子市で確認されている。旅を続けているようだ。2022 年には兵庫県南部で過ごしている。

2018 年

J0195♂6 月 19 日巣立ち。一人っ子のせいか、とても臆病できれい好き、羽繕いが好きなのか、親鳥の羽繕いまでしていた。8 月末から長浜市に飛来し「戸島君」と呼んでいただき、毎日のように観察していただいていた。その後、鳴門市、加古川市で元気に過ごしていた。

2022 年 5 月 5 日に河北潟の人工巣塔でJ0205♀と交尾。人工巣塔は野生君に譲ってくれたのか、志賀町の山間の静かな電柱でJ0205と営巣してヒナ 3 羽を巣立たせた。そのうち一羽（J0504 ）が台湾へ渡った。

2019 年

J0246♂7 月 6 日巣立ち。巣立ち後すぐに J0103 追いかけられ、7 時間過ぎて帰巣した。20 日後

に足の指にトラバサミが挟まり、3 週間後に外れる。一か月給餌を続け 8 月 3 日に捕獲。コウノトリの郷公園で手当てを受け、10 月 17 日に国府平野で放鳥された。放鳥後 J0087 に追いかけられていたが、翌日には同じ場所で目撃されていた。19 日に行くと 1 羽が追いかけられて円山川を越えていくのを見たのが最後、行方不明となっている。追尾され必死で逃げていた姿が忘れられない。なんとも、可哀想だ。2020 年 11 月に韓国で確認され感激。日本へ戻り、2022 年高島市の人工巣塔にJ0307♀と共にとまっていると連絡を受けた。幸せになってもらいたいものだ。

J0247♀7 月 5 日巣立ち。J0246 の傍に寄り添うように過ごしていた。8 月 4 日以降、戸島湿地へは戻らず、京丹後市、今年に入ってからは宮崎県都城市で過ごしている。戸島生まれの女子はあたたかな九州がお好みのようだ。2022 年 10 月死亡が確認された。

J0248♂7 月 5 日巣立ち。体も大きく、巣立ち後に J0247 が J0103 に襲われていると急いで戻り勇敢に立ち向う。四国がお気に入りのようで、愛媛、鳴門、丸亀で過ごしている。

2020 年

戸島ペアは、J0122♂と J0043♀（共に昨年近親婚ペア）が巣で交尾行動をし、毎日のように飛来しているので落ち着かない様子です。J0391 が湿地内にいない時には緊張状態が続きます。J0294 は J0102 や J0103、J0112 と J0043 に攻撃されながらも、命をつなごうと一生懸命です。

J0312♀ 6 月 29 日巣立ち。J0294 がいる湿地西田んぼに着地。湿地西の電柱には J0043 と J0122 がとまっていましたが、その上を飛び、城崎大橋建て替え工事現場の上空を通って湿地西田んぼに降りました。作業日で、学生アルバイトの皆さんもコウノトリの様子を見ながら作業をしてくださっていました。

J0313♀ 7 月 2 日巣立ち。下島田んぼに降りているのを確認。大岡学園の皆さんがボランティア活動で来られていて、お昼ご飯の時間に飛び立ちました。多くの方と飛び立つ瞬間を共有できて嬉しい巣立ちとなりました。

2021 年

J0383♂ 7 月 26 日巣立ち。早朝に巣立ちをして西田んぼの畦に降りているのを確認。その後帰巣し、まだ巣立ちをしていない J0385 を思いやるかのように、J0386 と共に巣に伏せていました。

J0385♂ 7 月 28 日巣立ち。先に巣立ちをした 2 羽が飛び立ち、巣塔南に降りたためか、続けとばかりに飛び立っていきました。8 月 12 日に湿地北の管理道の植栽のところで死亡しているのが確認されました。

J0386♀ 7 月 20 日巣立ち。3 回排泄をして。巣台を蹴り上げるようにして、力強く飛び立つ。その後、波乱万丈の一日。北へ飛び立ち、エコハウスを超えて旋回し、工事現場の上を飛んで下島方向へ飛んでいきました。追いかけましたが、見失い 15 分ほど探しましたが見つけられませんでした。その後、田んぼに張られているネットに足を絡ませているのを見つけ、救護を待っていたところ自力で脱出し農業用水路に入ってから飛び立ち、湿地近くまで飛んできたところで送電線に羽がぶつかり、下の田んぼに降りました。
しばらくして、今度も自力で飛び立ち、湿地南の田んぼに降り休息。

農道まであがったところで J0102 に襲われ？ましたがすぐ伏せ、J0102 が離れたすきに巣塔南に飛んでいき木陰で休んでいました。ホッとしたのも、つかの間。巣塔南に J0177 が猛スピードで飛んでいきました。
J0177 は飛び立ち電柱へ。J0386 も飛び立ち湿地南の農道に降り、北へ歩行していきました。J0177 も電柱にいましたが襲ったりしませんでした。その後、17 時 38 分、ようやく帰巣することができました。

2022 年

J0499♀　7 月 28 日巣立ち。今年の 2 羽は何度も飛び立ちますが着地できないでいました。降りようとするところに電柱から巣立ちをした 2 羽がいたり、J0103がいたり。湿地南の草を刈り、降りれる場所も確保していたのに降りません。電線を潜り抜け上手に飛びます。西の田んぼに着地しているのを確認しました。巣立ち後は京丹後市、亀岡市で過ごしているようです。

J0502♀　7 月 27 日巣立ち。何度も飛び立ち、巣立ちがいつなのか分からないまま、着地しているのを確認しました。電気柵を潜り抜け、再度戻りハラハラしました。上手に飛び、方向返還もお見事。事故がないようにと祈らずにはいられない巣立ちでした。

2011 年から録画システムが備えられ、指定管理者としてできる限り記録してきました。
2017 年は朝一番の湿地作業の際、巣塔近くで草搬出用のボートを下す音に驚き、孵化後 66 日目のヒナが飛び立っていたのですがき 2 羽目のヒナはシステム故障のため録画できませんでした。
15 年の記録から感じたことは

・帰巣して 3 分以内に交尾することが多い。
・繁殖期になると交尾後に尾羽をプルプル震わせる。
・飛来個体があると交尾回数も増える。
・オスの飛来には J0391 が立ち向かい、メスの飛来には J0294 が追い払う。

他の地域での巣立ち観察の、参考にしていただけると嬉しいです。

ハチゴロウの戸島湿地
産卵数・巣立ち羽数

年度	産卵数	巣立ち羽数
2008 年	3	3
2009 年	2	2
2010 年	4	2
2011 年	4	2
2012 年	3	2
2013 年	4	1
2014 年	6	3
2015 年	4	2
2016 年	3	2
2017 年	4	2
2018 年	4	1
2019 年	4	3
2020 年	3	2
2021 年	3	3
2022 年	2	2
合計	53	32